

1、わくわく運営事業 日常活動報告

①日常活動について

来室から帰宅まで、放課後ルームを拠点に、体育館等で職員が見守る中、安全で自由に過ごせるよう環境を整備し、児童の見守り及び関わりを行った。また、児童の来室直後には学習タイムを設けるなど、子どもたちが勉強・学習できる環境整備も行った。この他、児童との関わりの中では学年の違いに配慮しながらも異学年での交流が生まれるよう働きかけていった。

今年度は小学校のリノベーション工事に伴い、放課後ルームの引越しを複数回行った。都度、放課後ルームまでの動線やルール確認を行い、児童に周知した。また、校庭が全面使用できない為、掲示物や工作による室内活動の充実を図った。

②企画活動について

以下の通り企画活動を行った。主に工作や運動遊び、レクリエーションの要素を持った活動を中心に企画活動を実施した。

4月

実施日	イベント名	参加人数	内容
13日	わくわく体験日	29名	1年生対象にわくわくひろばの体験日を設けた。
15日	ふうせんリレー	39名	風船を使って様々なリレーを行った。
18～22日 25・26日	1年生へのプレゼントづくり	71名	シャカシャカキーホルダーを作成した。

5月

実施日	イベント名	参加人数	内容
11～13日 16・17日	紙コップのクラッカーづくり	107名	紙コップと輪ゴムを使ってクラッカーを作成した。
23～26日	けん玉検定	55名	けん玉の技を練習し、検定に挑戦した。

6月

実施日	イベント名	参加人数	内容
20～22日 27～29日	動くカラフルいもむし	94名	色画用紙を使って動くおもちゃを作成した。
30日	王様じゃんけん	64名	チーム対抗でじゃんけんによる集団遊びを行った。

7月

実施日	イベント名	参加人数	内容
11～15日	かざぐるまづくり	110名	クリアファイルを使ってかざぐるまを作成した。
28日	アメリカンドッジボール	65名	外野のない特別なルールのドッジボールを行った。

8月

実施日	イベント名	参加人数	内容
4日	脱出ガチ鬼ごっこ	57名	特殊なコートを使って鬼ごっこを行った。

9月

実施日	イベント名	参加人数	内容
12～16日	毛糸のフォトフレームづくり	100名	毛糸を型紙に巻いてフォトフレームを作成した。

10月

実施日	イベント名	参加人数	内容
3～7日	おばけモビールづくり	92名	画用紙でおばけの形の吊るし飾りを作成した。
17日	チーム対抗鬼ごっこ	39名	チームに分かれて変わったルールの鬼ごっこをした。

11月

実施日	イベント名	参加人数	内容
21、22日 24、25日	紙コップロケットづくり	65名	紙コップと輪ゴムを使ったおもちゃを作成した。
7～30日	ペーパークラフト	多数	1日1枚ペーパークラフトで遊べるようにした。

12月

実施日	イベント名	参加人数	内容
6日	しっぽとり	71名	チーム対抗でしっぽとりを行った。
12～16日	プラスチックコップで スノードームづくり	87名	プラスチックコップや折り紙を使用してスノードームを作成した。
28日	大掃除	29名	放課後ルームの掃き掃除・拭き掃除を行った。

1月

実施日	イベント名	参加人数	内容
16日	ビンゴリレー	70名	チーム対抗で、ビンゴになるようリレーでマーカーコーンを置く遊びを行った。
23～27日	ハートのミニバッグづくり	58名	フェルトを使用してミニバッグを作成した。

2月

実施日	イベント名	参加人数	内容
8日	ラプターをやってみよう	24名	ロシア発祥の球技に挑戦した。
13・14・ 16・17・20日	メモスタンドづくり	78名	紙粘土とクリップを使用してメモスタンドを作成した。

3月

実施日	イベント名	参加人数	内容
6～10日	マジックカードをつくろう	67名	紙を引っ張ると色が出てくるカード作りを行った。
20日 22～24日	コルク人形をつくろう	54名	コルクを使った工作を行った。

2、行事報告

事業計画に基づき定期的に行事を実施した。行事は四季の変化を感じ取り、日本の伝統や自分の住む地域に愛着を持つことを目的に企画した。

実施日	イベント名	参加人数	内容
5月18日	わくわく歓迎会	128名	職員紹介やマジックショーを行った。
6月15日	わくわくミニ運動会	140名	チーム対抗でリレー等のゲームで競った。
7月25～29日	滝四カップ	245名	ぬりえやキラキラ絵のコンテスト、布巻きリレー等のミニゲームを行い競った。
8月1～19日			
8月8～12日	平和週間	多数	模造紙を使用してちぎり絵制作を行った。
8月16、17日	夏のこわいお話し会	43名	怖い話のDVD鑑賞を行った。

9月21日	防災運動会	91名	チーム対抗で防災に関連した競技に挑戦した。
10月26日	秋のおたのしみ会	118名	ストラックアウト等のゲームコーナーに挑戦した。
11月 14～18日	秋の手形・足形アート	66名	手形・足形用スタンプを使用して作品づくりを行った。
12月26日	年末おたのしみ会	78名	ジェスチャーゲームやビンゴ大会を行った。
1月11日	新年おめでとう会	93名	巨大カルタとり、おみくじ等の正月遊びを行った。
2月1日	節分豆入れ大会	98名	鬼の口に紙玉を投げ入れるゲームを行った。
3月15・16日	卒業おめでとう会	131名	ゲームや質問コーナーを通して6年生の卒業のお祝いをした。

3、特別活動報告

滝野川第四小学校の学区内に居住する、(または北区内に居住する) 特別な専門技術を有する方を講師とする活動、保護者も一緒に楽しめる活動、学校外をステージする活動を実施した。また、滝野川第四小学校で実施されていた地域寺小屋の活動内容を継承し、特別活動として実施した。

実施日	活動名	参加人数	内容
7月30日	エコタイム	3名	ブルーシートを使ってエコバッグを作成した。
9月17日	自己表現ワークショップ	9名	楽しい思い出等を発表し合い、ミュージカルにする表現活動を行った。
10月22日	ダンスタイム	9名	体育館でダンス教室を開催した。
11月19日	ヒカリエがこう	12名	暗闇で懐中電灯の光で描いた絵や文字の残像を撮影する体験をした。
1月18日	ユニバーサルシアターに行ってみよう	19名	商店街にあるチュプキ・タバタを訪問した。
2月15日	ダンスタイム	27名	体育館でダンス教室を開催した。
3月19日	エコ工作	6名	Tシャツを使ってエコバッグとタッセルづくりを行った。

4、クラブ活動報告

【卓球クラブ】

目的：卓球を通してスポーツの楽しさを知り、仲間づくりをする。

登録人数：23名（7月まで24名登録、9月より23名）

活動開催回数：23回（6月～2月まで活動・8月は夏休み期間のため活動休止）

延べ参加人数：453名

内容：6月より本格的な活動を開始した。感染対策のため前半後半2グループに分け、2部制で実施した。最終活動日にはクラブ内試合を行い、練習の成果を発揮する場を作った。また実際に活動ができない日には卓球のルールを学ぶ座学を行い、卓球に触れる機会を増やした。ご指導いただいた講師とも密に連携をとりクラブ活動の充実を図った。

5、実行委員会報告

放課後子ども総合プランの事業、運営について話し合う場として定期的開催した。内容としては活動報告、様々な課題についての協議等を行った。今年度は6月、9月、12月、2月の4回開催した。メンバーは学校関係者、地域関係者、PTA関係者、管轄児童館関係者であった。

	実施日	参加人数	主な議題
第1回	6月24日	20名	令和3年度事業報告、登録状況・利用状況報告、夏休みについて
第2回	9月30日	20名	登録状況・利用状況報告、冬季の運営について
第3回	12月7日	18名	登録状況・活動報告、今後の予定について
第4回	2月27日	19名	登録状況・活動報告、来年度事業計画、今後の予定について

※参加者数は法人職員含む

6、その他の活動報告

(1) 広報活動

①わくわく滝四ひろばだより

毎月発行している滝野川第四放課後子ども総合プランの情報誌でその月の企画や行事を掲載した。学校を通じて全校児童に配布した。また実行委員会の方、地域施設等、子どもわくわく課を通じてすべてのわくわく☆ひろばに配布した。

②ホームページ

滝野川第四放課後子ども総合プランは独自のホームページを持っており、北区のホームページとリンクしている。ホームページには施設の概要や最新情報などを載せており、施設を利用したことの無い人や遠方の人まで幅広い対象に滝野川第四放課後子ども総合プランをアピールできる場となった。また、自然災害などの有事の際の情報発信の場としても活用した。

③元気です

社会福祉法人東京聖労院の広報誌。年3回の発行。滝野川第四放課後子ども総合プランで行われた行事の報告などを載せている。

(2) 防災訓練

利用者の安全を守るため、防災計画をたて、訓練を行った。有事の際に混乱なく避難できるように訓練した。また、毎月実施している滝野川第四小学校の避難訓練に職員が参加した。

実施日	活動名	参加人数	内容
4月26日	防災訓練(職員)	20名	職員による避難経路及び防災バッグの中身の確認を行った。
5月26日	避難訓練(地震)	106名	震度5強の地震を想定して、各部屋から避難する訓練を行った。
6月28日	避難訓練(地震)	118名	震度5強の地震を想定して、各部屋から三角公園へ避難する訓練を行った。
7月19日	誘導訓練(職員)	6名	職員で広域避難場所までの経路確認を行った。
8月31日	誘導訓練(職員)	10名	職員による引越し後の部屋からの避難経路の確認を行った。
9月16日	避難訓練(地震)	125名	震度5強の地震を想定して、各部屋から三角公園へ避難する訓練を行った。
10月26日	避難訓練(地震)	128名	震度5強の地震を想定して、各部屋から三角公園へ避難する訓練を行った。
11月29日	防災訓練(職員)	21名	職員対象に防災に関するDVDの視聴を行った。
12月27日	防災訓練	75名	児童対象に防災に関するDVDの視聴を行った。
1月30日	避難訓練(地震)	104名	震度5強の地震を想定して、各部屋から三角公園へ避難する訓練を行った。
2月24日	避難訓練(火災)	88名	家庭科室より火災が発生したと想定し、各部屋から避難する訓練を行った。
3月31日	避難訓練(地震・火災)	102名	震度5強の地震及び火災が発生したと想定し、各部屋から三角公園へ避難する訓練を行った。

(3) 苦情・事故対応

事故については 3 件あった。その都度、事故の経緯の把握、職員周知、事故を未然に防ぐためのルールの確認および変更などを行った。いずれも加入している損害保険で対応した。

苦情については 1 件あった。対応した。初期対応と児童同士のトラブル対応について再確認をした。また、軽微な怪我、苦情ではないが問い合わせなどもあり、その都度丁寧に対応することができた。

(4) その他

- ・弁当対応について

土曜日や学校休業日は毎回弁当対応を行い、その様子や人数（内訳を含む）を記録し、北区教育委員会事務局子ども未来部子どもわくわく課に報告した。また、夏場などの気温が高い日には、児童のお弁当に保冷剤を入れていただくよう保護者に依頼し、食中毒の予防に努めた。

- ・児童の再登校について

一度に限り児童の再登校を可能とする活動を行った。

1、滝四もみじクラブ第一・滝四もみじクラブ第二（学童クラブ）とは

滝野川第四放課後子ども総合プランの事業の一つとして、北区から業務委託を受け、田端児童館管轄のもと学童クラブ事業（放課後児童健全育成事業）を行っている。

日常生活と健全育成の場として、小学校内に専有の部屋と担当の職員を配置し、運営を行っている。

- ①利用時間）月曜日～金曜日 下校～午後 6 時
 延長育成 午後 6 時～午後 7 時
 学校休業期間 午前 8 時 15 分～午後 6 時
 延長育成 午後 6 時～午後 7 時
 土曜日 午前 8 時 15 分～午後 6 時
- ②定 員）滝四もみじクラブ第一：80 名
 滝四もみじクラブ第二：35 名

2、1日の子どもの動きについて

【学校開校日】

学校終了後～	登室
	学習タイム
15:30	自由遊び
	おやつタイム
	おやつ終了
	自由遊び
16:45	帰宅準備
17:00	帰宅開始
	コース帰り
17:20	帰りの会（第二）
17:30	コース帰り
17:50	帰りの会（第一）
18:00	コース帰り
	※以降延長育成
19:00	帰宅終了

【学校休業日】

8:15	登室
	部屋遊び
9:15	学習タイム
	自由遊び
12:00	昼食
	片付け・休憩
13:00	自由遊び
15:30	おやつタイム
	おやつ終了
	自由遊び
16:45	帰宅準備
17:00	帰宅開始
	コース帰り
17:20	帰りの会（第二）
17:30	コース帰り
17:50	帰りの会（第一）
18:00	コース帰り
	※以降延長育成
19:00	帰宅終了

3、学童クラブの運営について

毎日職員ミーティングの時間を設け、子どもについて・学校や地域のことについてなどの情報を全職員で共有するよう努めた。また、学童クラブ職員間のミーティングも毎日行い、子どもたちの些細な変化等についての情報を職員で共有した。

①子どもとの関わりについて

活動場所には必ず職員を配置し、子どもたちが安心して生活・活動ができるよう配慮した。学習タイム（5時間授業以上は15分、午前授業日及び学校休業日は30分）では、集中して取り組めるよう、班で取り組むことを基本とした。

学習が終わった子から順次本読みをするように促した。環境を整備し、一目でどこに

何があるか子どもたち自身で把握することができるようにした。そうした事でより自発的に片付けや、環境整備の声掛けも子ども同士で出来るようになっていた。そのほか、学童クラブ独自の行事などを設け、子どもたちがクラブに対して帰属意識を持てるようにした。

②おやつ提供について

保護者から毎月徴収しているおやつ代を使用し、おやつ購入提供を行った。毎日午後3時30分頃（各学年の下校時間によって異なる）からおやつ時間とした。栄養面に配慮し、子どもたちが十分なエネルギー補給をできるように工夫した。

月1回の誕生会の日には、誕生児童のリクエストおやつとジュースを購入し、その月の誕生児童をお祝いした。

③保護者との関わりについて

毎日の連絡帳や、保護者会、個人面談を通して日々の子どもの様子を伝え、よりよい運営を行うために情報を共有した。

④安全の確保について

保護者と協力して、出欠の把握を徹底するとともに、子どもたちに対しても、安全確保の意識が高まるように日常的に指導した。また、滝四もみじクラブ第一・滝四もみじクラブ第二に在籍する児童の居住地域が四方に分かれていた為、児童の帰宅時の安全を図れるようにコースも4つに分けた。

4月、10月～2月はシルバー人材センターのパトロールがポイントまでの見守りを行った。

時間は①16:30 ②17:00 ③17:30 ④18:00の計4回。

4、子どもの様子について

登室の際は、消毒・検温をし、身支度を整えた後に学習タイムを実施した。学習タイム終了後はおやつタイムとし、その後、学童クラブ室内や放課後ルームでゲームや工作をして過ごした。学童クラブではごっこ遊びをしたり工作活動をしたりと多くの遊びが展開された。また、わくわく滝四ひろばの放課後ルームには、学童クラブ室には無い本や遊具がある為、放課後ルームで過ごすことで子ども達の遊びの幅を広げられた。また交友関係も広がりより充実した遊びが展開されるようになった。室内遊びだけでなく、学校の体育館や屋上を使用しながら運動遊びを自由に行った。

学童クラブの行事に加えて、わくわく滝四ひろばの行事にも参加することで、学年を超えての幅広い交流を積極的に図ることができた。